

MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2012年6月号 前潟センターも2年目に突入！！



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

辻田 優芳 (教職員)

こんにちは、スカイこと辻田優芳です。盛岡YMCAを卒業して、一年が経ちました。私は、現在、特別支援学校で高等部の生徒たちと学校生活を送っています。

先日、私が担当している学年で親子行事があり、『いのちの学習』を行いました。内容は、それぞれの生徒が生まれたときのエピソードや名前の由来、メッセージを保護者の方にお話ししていただくというものでした。その際に、赤ちゃんのときなど、生徒の小さい頃の写真も合わせて上映しました。保護者の方からのお話では、『生まれてきてくれて嬉しかった。ありがとう。』というものもあれば、『子育てに悩んで辛かった。一緒に乗り越えて今がある。』というようなものもありました。私は、まだ「親」になったことがないので、子育ての喜びや大変さを十分に理解することはできていないと思いますが、生徒と保護者が歩んできた16～7年間の重さ、尊さを感じました。赤ちゃんのときの写真と今の生徒を見比べると「大きくなっただね」と目頭が熱くなりました。また、私が生徒たちに出会った運命とその使命、思春期

という大事な時期に関わらせていただいている責任など、たくさん
の思いを馳せた行事となりました。

リーダーだった頃も同じことを考えていました。半日や3泊4日
など、活動によって子どもたちと関わる時間は違いましたが、そ
の子の人生の一部分に関わることに責任を感じていました。
YMCAでの思い出や経験がいつか、いつかその子の人生の糧にな
れば嬉しい、そのためには今、自分はリーダーたちは何ができ
る？何を話す？と考えて関わっていました。

現在は、なかなかYMCAには行けないので、一緒に遊んだ子
どもたちに会えていませんが、よく「あの子はもう〇年生か…」と
しみじみと思い出しています。子どもたちもどんどん成長してい
つかは結婚し、子どもができて親になるときがくるでしょう。そ
の前に、自分の親から自分が生まれたときのエピソードや名前の
由来を聞いてみてもらえたらと思います。

それでは、また会う日まで。

新設！向中野センター！！

ぶらいむ・たいむ前潟校は昨年度から開校し今年度で2年目を迎えました。1年生から4年生まで合わせて24人の子どもたちと5人のスタッフが日々生活をしています。

一人ひとりが個性がとて強く、自分の思いを口に出すことができるので、ケンカやぶつかり合いは毎日のようにありますが、少しずつ相手の思いに耳を傾けることができるようになりつつあります。

また、目の前にある公園はとても広く、四つ葉のクローバー探しをする子がいれば、サッカーをする子もいれば、ブランコや鉄棒をする子もいれば、鬼ごっこをする子もいればとたくさんのお遊びが繰り返されます。

部屋の中では、スタッフが作ってくれた、的当てや缶当てのゲーム、迷路やパズルをして遊んだり、毛布を使って秘密基地を作ったりと、こちらも思い思いのお遊びを思いっきり楽しんでいます。

これからも、子どもたちと向き合い、一人ひとりにとってかけがえのない居場所となるように、スタッフ全員で場を作っていきたいと思っています。

(文責：ぶらいむ・たいむ前潟校 浅沼慧)



↑ 歩いて20秒で公園に到着！思い切りボールを蹴ったり走ったりできるほど広い公園です!!



↑ 手作りおもちゃがあふれる室内。中でも、昨年度からある的当てはいつになっても大人気☆



↑ 学校から帰ってきてすぐに宿題にとりかかる子もいれば、そうでない子も…。



↑ 前潟センターは、部屋やクローゼットの数が多く、かくれんぼや秘密基地作りにも最適☆



↑ お誕生日会はいつも自分達で作るおやつでお祝い☆



↑ 毛布は、秘密基地にも怪獣に変身するためにも着地マットにもなる優れもの！

☆ リーダー紹介 その③ ☆

こんにちは。今回わ私ジープンこと盛岡大学1年向平悟(むかいだいら さとる)がリーダー紹介させていただきます☆

今回紹介するのはチノパンリーダーこと佐藤淳真(さとう あづま)くんです！彼は盛岡大学文学部児童教育学科(諸事情により)1年生です。私が彼に始めて出会ったのは小学生の頃でした。低学年の頃はお互い面識がありませんでしたが、高学年になった時に現在も活動している盛岡YMCAベストキッズと一緒にサッカーをするようになりました。彼わベストキッズでキャプテンも務めており、周りのことをとても考えてくれます。小学校、中学校と一緒にサッカーをしてきて大学生になった今も仲良く活動をしています。



僕がチノパンです♪



僕がチノパンを紹介します!!

昔から大人っぽかったのですが、大学生になった今では時間が空いた時などコーヒーを飲みたいという大人っぷり。性格はとても明るくて、とても友達が多く誰とでも仲良くなれてしまいます。さらに強いポジティブ精神の持ち主で前向きにどんどんチャレンジできるという羨ましいといつも思うほどいいところが沢山あります！ただ少々絵を描くことについては難ありで、未知なる生物を幾度となく生み出しています。

皆さんもチノパンに会ってみていいところを沢山見つけてあげてください♪

次回号ではチノパンからジープンを紹介してもらいます！乞うご期待★

○宮古アドベンチャークラブ

宮古ボランティアセンターは6月を迎えていよいよ衣替えのシーズンと思いきや、天気予報などをチェックすると、宮古は盛岡に比べて気温がちょっと低くて肌寒い日が続くことがあります。「やませ」と呼ばれる北東からの冷たい海風が吹くためだそうで、梅雨明けまでしばらくは上着を手放すことが出来ません。

6月9日(土)には子どもたちの心のケアプログラムとして、宮古沿岸地域在住の小学生を対象にした野外活動プログラム、第2回宮古アドベンチャークラブを実施し、区界高原少年自然の家に訪れました。ちょうど宮古市と盛岡市の境にある区界高原は盛岡市の多くの小学生が林間学校で利用する場所ということですので、盛岡出身の方はよくご存じの場所かと思えます。

我々も盛岡と宮古をよく行き来する際、区界高原はいつも通過している場所なのですが、自然が豊かな場所なのでずっと気になっていました。そして実際に来て活動してみると、新緑が美しい季節だからということもありましたが、予想通り子どもたちにとってとても恵まれた環境だということがわかりました。

人があまり手を加えていない自然の中で、高台から見える絶景パノラマに感動し、マイナスイオンを肌で感じ取ることの出来る森林浴など、被災地でストレスを抱えながら生活をしている子どもたちの心のケアのために、自然の中でのびのびと遊びながら貴重な体験ができたことはとっても良かったと思います。ボランティアリーダーとかかわった子どもたちも本当に楽しそうな表情をしていました。

3月9日
区界駅前にて集合写真



← ホームにて

森の中 ↓



← 魚菜市场青年部のお手伝い



↑ 盛岡YMC Aのリーダーもお手伝いしました！
海鮮焼きそば、海鮮焼きのほか、宮古の海産物も販売しました。



みなさん、雨の中
ありがとうございます。

→ 食事の席は大盛況！



→ 宮古あきんど復興市



○東北六魂祭・宮古あきんど復興市

YMC Aが取り組む産業復興支援の一環として、今回は5月26日(土)に第2回東北六魂祭に合わせて盛岡で実施された「いわて三陸復興市」に出店された、宮古市魚菜市场青年部の皆さんによる海鮮焼きそば、海鮮焼、魚の加工品の販売のお手伝いと、6月10日(日)には、地元の宮古市末広町商店街で実施された「宮古あきんど復興市」にYMC Aとして出店し、富士宮焼きそばの販売を行いました。今回はどちらもお振る舞いではなく販売でしたが、遠方より、また宮古では大雨で足元の悪く、大勢の方々にお越しいただきました。ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。

また、いわて三陸復興市では、地元の盛岡YMC Aのリーダーやスタッフの皆さんにもお手伝いいただきました。本当にありがとうございました。

皆さんもご存じのように、多くの人々に被災地を訪れていただき、たくさんものを買っていただくことも支援につながります。

その他にもYMC A宮古ボランティアセンターでは、宮古市内で実施される地域イベントに積極的に参加したり、被災地にも県外からたくさんの方々に足を運んでいただけるように呼びかけて、これからも支援の輪を広げたいと思います。

宮古ボランティアセンター長 大谷

感謝

2012年6月25日現在

順不同・敬称略

●東日本大震災被災地支援募金
献品

茨城YMC A、松尾聡子、山田京子、藤井辰夫

●維持会費

角谷晋次、角谷千代子、竹内一真、千葉代子、花田瞳、小畑孝子、吉崎陽、池田二郎、今松桂子

●寄付金

角谷晋次、花田瞳、小畑孝子、吉崎陽、今松桂子

5月アドベンチャー 「野外調理に挑戦！」

5月20日(日)、都南つどい森に行ってきました。薪割り・火付け・野外調理をしてきました。薪割りでは、鉈を力いっぱい振り下ろして一生懸命割っていました。

火付けでは、みんなで考えながら木を組んでどうしたらつか試行錯誤していました。調理では、米を炊いたり野菜炒めを作ったりしました。どの工程でもみんなで協力し、楽しみながら作業していました。そして、めったにできない作業が多かったこともあり、良い体験が出来たと思います。みんなで作った野菜丼を食べました。みんなで作り、食べた野菜丼は最高でした。

午後のフリーでは、泥パックをしたり・鬼ごっこをしたり・ハンカチ落としをしたり・リーダーに水をかけたりとそれぞれで遊んでいました。どの遊びも楽しい雰囲気でした。そして最高の笑顔がたくさん見れました。1日を通して怪我なく、楽しく過ごせたと思います。

盛岡大学児童教育 4年 三田 庸平(枝豆)



★ 6月サンデースクール ★

6月17日(日)に6月サンデースクール「ペットボトルロケット作り」を前潟センターにて行いました。参加者は、子供8名にリーダー7名の計15名です。最初にロケットにするペットボトルを一本決めて、様々な材料を使い、思い思いにロケットを作り始めました。

作成中には、道具の貸し借りをしたり、他の子が作ったロケットに様々な感想が飛んできると、ワイワイガヤガヤしていました。待ち切れずに、完成したペットボトルロケットで宇宙ロケットバトルを始める子ども。

みんなのロケットが完成した後、近くの公園で飛ばしてみました。直前まで雨でしたが、みんなの念が通じたのかすっきり青空に★ペットボトルロケットにお風呂の発泡性入浴剤と水を入れて栓をし、少し待つとすぽんと栓が抜けて飛んでいきます。自分で飛ばしてみる子や、ちょっと怖くてリーダーに飛ばして貰うのを、少し離れたところからドキドキしながら見ている子がいました。一方、入浴剤を砕く作業に夢中になっている子もいました。今回のペットボトルロケットは、お家でも作って飛ばせるものなので、チャレンジしてみてください!! 次回のサンデースクールは7月29日(日)「アイス作り」です。暑い夏に楽しくアイスを作ってひんやり＆ハッピーになりましょう!! みんなの参加を待っています!!

文責:盛岡大学4年 高橋みどり(ダダ)



～表紙の写真より～



土淵小学校1年生の女の子たち! あり余るほどの元気を持った新入生が加わり、より賑やかになった前潟センターです♪
(家村)



こぼれ種⑱ 「受容」と「赦し」

日本基督教団内丸教会牧師

(元日本YMCA同盟 主事) 中原真澄

YMCAがYMCAである事のととても大切な一つが、誰でも「受容」するということだと思います。その一つとして、日本で最も早い時期から、様々な障がいを持った子ども達を、「健常」な子と等しくプログラムに受け容れてきました。身体の障がいは勿論、発達障がいを持った子ども達も、YMCAは早く(少なくとも、私自身が目にしたのは1970年代)から引き受けていました。そうした「受容」は今や、一般の学校でも当然のこととなって来ましたが、当時はとても難しかったのです。

YMCAにおける「受容」のもう一つ大切なことは、育つ過程で挫折し、悪い方向へ曲がってしまった子ども達も受容することです。分かり易く言えば「お前はダメな奴だ」とは決して言わない…ということです。諺に「悪を憎んで人を憎まず」という言葉がありますが、もう一歩すすんで「受容」するのです。でもそれは、悪をそのままに受け入れる事とは違います。悪は悪として指摘しつつ、なお赦し、受け容れることを意味します。それは簡単ではありません。それでも「君のやったことはダメだけれど、君がダメなんじゃない。君は大丈夫!」と言い続け、関わり続けることなのです。そうした中で一人の人間を信じる事ができた時、子どもは自分を信じる事ができるようになります。それが出発点なのです。

イエスが語られた譬え話の中で最も有名な一つが「放蕩息子の譬え」です。財産を分けてもらった息子が家出し、全て遊びに使果たした挙げ句、どうにもならなくなって家に帰ってきた時、その父親は何も言わずに彼を抱きしめるのです。「受容」と「赦し」の姿が浮かび上がってきます。

まだ遠く離れていたのに、父親は息子を見つけて、憐れに思い、走り寄って首を抱き、接吻した。…「急いで一番よい服を持って来て、この子に着せ…食べて、祝おう。この息子は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったからだ」。(ルカ福音書15章20節～)

7月・8月の予定

- ★7月15日(日)～16日(月・祝)
わんぱくキャンプ (於: 都南つどいの森)
- ★7月22日(日)
ファミリーサッカーフェスティバル
(於: 北松園小グラウンド)
- ★7月29日(日)
サンデースクール「手作りアイスクリーム」
(於: ぷらいむ・たいむ前潟校)
- ★7月31日(火)～8月3日(金)
サッカーキャンプ (於: いこいの村)
- ★8月6日(月)～8日(水)
森のキャンプ (於: 外山森林公園)
- ★8月8日(水)～8月10日(金)
湖畔のキャンプ
(於: 秋田県・思い出の潟分校)
- ★8月12日(日)～15日(水)
YMCA休館日
- ★8月26日(日)
アドベンチャー8月活動「小川であそぼう!」
(於: 矢巾町立自然公園)